



つばきの郷だより



平成26年3月

3月のことを別名で「弥生（やよい）」といいますが、その由来は【草木がいよいよ生い茂る】という意味からきているそうです。卒業や年度替りで、新生活への準備に追われる方も多いこの季節。そんな方たちが芽吹き始める植物たちのように空に向かって大きく躍進されることを願っています。それでは、2月のつばきの郷の様子をご紹介します。

節分行事

2月3日、つばきの郷で節分行事が行われました。鬼の扮装をした男性職員が各フロアを巡り、皆様に向かって金棒を振り上げ威嚇すると、皆様は「鬼は外！福は内！」の掛け声とともに持っていた豆をいっせいに鬼たちにぶつけ、見事鬼退治をされました。

その後、おやつに豆菓子をいただき今年の厄除祈願をされました。

鬼は外！



福は内！



誕生会

2月13日、2月生まれの方6名のお誕生会を催しました。毎回恒例のお祝いのお花と色紙を贈り、職員による楽器演奏をプレゼントしました。代表の方から感謝のお言葉をいただき、みんなで一緒にお祝いのケーキをいただきました。皆様、どうかいつまでもお元気でお過ごしください。

お誕生日おめでとうございます



どうかいつまでもお元気で！



手品、ダンス等

2月21日、毎月恒例のフォークダンスの方々がボランティアに来てくださいました。楽しい手品に紙芝居、そして素晴らしい踊りを披露して下さいました。皆様も音楽に合わせて一緒に体操をしたりと、寒さも吹き飛び楽しいひと時を過ごしました。



つばきの郷では 3月中旬頃まで雛人形がロビーに飾ってあります。おいでの際はぜひごらんになってください。

